

中村かずひこ通信

vol.8

【発行元】中村かずひこ未来をつくる会 〒321-4362 真岡市熊倉町3423-4 Tel. 0285-82-6285
ホームページ <http://www.i-berry.ne.jp/~tonpei> e-mail tonpei@i-berry.ne.jp



一般質問が実現しました!

その1 自然教育センター・多目的広場 サッカー場として“条件付き”で使用可能に!

(平成16年 9月議会で質問)

平成15年度の子ども議会で中学生から要望として出され、その後中村も一般質問で取り上げた「自然教育センター・多目的広場でのサッカーの試合開催」が、条件付きで可能となりました。

平成17年度からは、小・中学生のそれぞれ1大会ずつ（準決勝・決勝）と高校生大会（真岡カップ）において、使用が認められることとなります。

皆様へのお願い

この取り組みは、あくまでもサッカー少年達の夢を叶えるために実施されるものです。市民の方々が無断使用など心ない行為をされた場合、再び使用できなくなることも予想されます。子ども達の夢を守るためにも、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

その2 『介護予防トレーニング』がスタート

(平成16年 12月議会で質問)

高齢者の方々が負荷の軽い筋力トレーニングを行い、介護の予防や軽減、自立回復に大きな効果がある『介護予防トレーニング』が、平成17年度から真岡市でも実施されることとなりました。

実現に向けてご尽力いただいた関係各位に心から感謝申し上げます。

2月定例議会報告

期間 2/22▶3/16



取り組む課題はまだまだあります! 中村、8回目の一般質問

2月定例議会の質疑・一般質問が2月28日(月)、3月1日(火)の2日間にわたって行われました。

中村は3月1日の3人目に登壇し、

1. 小学生の不登校問題について
2. ひまわり園の環境整備について
3. 職員互助会について
4. NPOやベンチャー企業の育成・支援について
5. パブリックコメント制度について

の計5件について一般質問を行い、論戦を展開しました。

(中面に関連記事)

平成17年度 予算特別委員会

また中村は、3月14日(月)に開催された「平成17年度予算特別委員会」でも質疑を行い、執行部の考えをたどしました。

1. 「はつらつ地域づくり事業費」について
2. 「介護予防筋力トレーニング事業費」について
3. 「保育ママ育成事業費」について
4. 「救急医療対策費」について
5. 「環境基本計画推進事業費」について
6. 「もおか木綿製品開発研究補助金」について

中村が行った
質疑の内容

平成17年度予算については、裏面に掲載しています。

市民と市政のかけ橋になりたい!

☆お気軽にお声をかけて下さい。
お友達との井戸端会議、勉強会等。2~3人でも結構です。どこへでもお伺いいたします。
☆あなたのアイデアを市政にいかしたい!
お気づきの点がございましたら、どんなささいなことでも結構です。ぜひご意見を!

(中村宅) TEL.82-6285 e-mail tonpei@i-berry.ne.jp

「見逃した!」という方に バックナンバーをお送りします

これまで「未来を作る会」では、毎回定例議会終了時に、「中村かずひこ通信」を発行して来ましたが、1~7号までを見逃された方は、お気軽にご連絡下さい。こちらからお送りさせていただきます。

(連絡先) TEL.82-6285





質問:中村かずひこ

中村かずひこ議会レポート

2月定例議会

答弁: 福田 武隼市長
井田 隆一 総務部長
田宮與四郎 教育指導次長

小学生の不登校問題 について



質問 今年度、小学校の不登校児は2学期終了の時点で、すでに17名(0.44%)と、近年で最も高い数字になっている。しかも、低年齢化の兆候(1年生で1名、3年生で2名)が見られるということ。さらに、不登校の理由で第1位が『無気力』(全体の35%)という驚くべき調査結果も出ている。この『無気力』の背景には、どのようなものがあると認識しているか。

答弁 少子化や核家族化の進展、地域社会における人間関係の希薄化などの中で、① 友達と関わることの苦手な子供の増加 ② 成長過程での様々な体験不足からくる情緒や忍耐力が弱い子供の増加 ③ 家庭教育での放任・過保護の2極化傾向などが顕著になり、小学校の早い段階からの不登校が増えている原因になっていると思われる。

質問 『無気力』の原因が分類化されれば、子どもに応じた対策も可能であると考えます。教育委員会としては、今後どのような取り組みをするつもりでいるのか。

答弁 ① 各学校に不登校対策委員会を組織 ② 欠席が2日以上続く児童に対しての家庭訪問 ③ 幼稚園・保育所・小学校及びライブラリー教室など関係機関との連携強化 ④ 分かる授業の展開、楽しく夢のある体験授業を重視した魅力ある学校づくりなどの取り組みを徹底させ、未然防止に努めたい。

ひまわり園の環境整備 について



質問 長田にある心身障がい児通園ホーム『ひまわり園』は、現在子どもと保護者が一緒に通園することを原則としている。しかし、保護者からは「せめてあと1~2日、親子分離通園の日を増やしてもらえないか(現在は週1日)」との声が寄せられている。財政的に厳しい今日とは言え、決して不可能な施策ではないと考えられているか。

答弁 ひまわり園の建物は老朽化も目立つことから、将来的には施設・制度両面の見直しが必要と考えており、親子分離方式や入所定員など、運営方法についてもその時点で検討していく。

質問 現時点においては『ひまわり園』に通園が困難である父子・母子家庭への対応は、どのように考えるか。「幼稚園や保育所の障がい児保育で対応する(平成15年12月議会の答弁)」とのことであったが、子どもの障がいの程度によっては、入園を断られるケースもあると聞くのだが。

答弁 父子・母子家庭に限らず、それぞれのケースについて、家庭相談員や児童相談所などと協議して、子どもの発達に応じて対応していきたい。

職員互助会 について



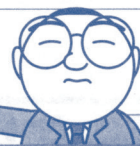
質問 平成17年度の予算案を見ると『職員互助会貸付金』が廃止された。さらに、職員からの会費を引き下げたため(給与の4/1000から3/1000へ)、公費から同額出されていた補助金も減額され、合計で約700万円の公費が節減できたことは評価したい。しかし、例年と同じ内容の厚生事業を行うと仮定しても、平成17年度は相当の金額が次年度繰越金として余ると予測される。なぜ会費の下げ幅が、前述の程度にとどまったのか疑問である。

答弁 平成16年度の事業内容と予算の執行状況などから、平成17年度への繰越金が減少する見込みであるのに加え、今後屋台(市若が所有するもの)の大規模な修理費用を蓄えておく必要があることなどによって、3/1000の率の会費が必要との結論に達した。

質問 予算案を策定する段階において、互助会の活動内容・方針については、職員間でどのような話し合いが持たれたのか。

答弁 昨年12月、各部署から推薦された31名からなる役員会を開催し、平成17年度の互助会事業計画の方針・予算について検討した。

NPOやベンチャー企業の育成・支援 について



質問 平成18年度から、真岡市でも『指定管理者制度』が導入され、公共施設の管理運営を民間団体に委託できるようになる。NPO法人に委託することも選択肢の1つであるように思うのだが、市としては、そうした団体の設立・育成をしていく考えはあるのか。

答弁 現在、本市には14のNPO認証団体がある。公共施設の管理運営を委託できるだけの組織運営能力があるのか、新たな団体の育成が可能かなどについて、今後十分に研究していきたい。

NPOやベンチャー企業の育成・支援 について



質問 ベンチャー企業の支援施設『MOP 21』は平成15年1月に、荒町の空き店舗を活用して開設され、**現在8社が入居**している。しかし**18年3月末で『MOP 21』を退出**しなければならず、その後の活動場所が大きな課題になると予想される。
今後、**新たな支援施設を設けて、ベンチャー企業の流動化防止と、新規の起業家の創出に努めるべき**ではないか。

答弁 現在、『MOP 21』に入居している企業については、退出まであと1年の余裕がある。商工会議所と連携を図りながら、**進路相談会などを通じて入居企業の状況把握に努めるとともに、退出後の方向性を探っていききたい。**

パブリックコメント制度 について



質問 **パブリックコメント制度**は、自治体が条例や計画の案を事前に公表し、住民から意見を集め、寄せられた意見に対する自治体の考えを示すとともに、その意見を考慮して最終案をつくっていく一連の手続きのことである。
すでに県内では、12市のうち7市で導入することが決定しているが、真岡市では今後どのように取り組んでいくつもりなのか。

答弁 市民生活に影響を与えるような条例や総合計画などについては、多くの市民から意見を募り、市の考え方を説明する必要があると考えている。
パブリックコメント制度の制定に向けて、**他市の実例を調査し、真岡市にふさわしい制度の内容や、実施時期について検討していききたい。**

要望 NPOやベンチャー企業の育成・支援について

松谷明彦・政策研究大学院教授が著した『人口減少経済の新しい公式』によれば、**30年後の日本は人口で14%、労働力人口で19%の減少**が見られると予測している。

こうした状況にあっては、従来の大量生産型のシステムは持続困難となり、**地域社会においても、工業団地の誘致・整備を進めてきた地域から疲弊し、「この地域でしか生み出せない」というものを持っている所のみが生き残れると、**松谷氏は説いている。

これまで本市が工業団地の整備を進めてきたことについては、今後の財政運営などを考えても意義深いことではある。しかし、この価値観だけで進んでいった場合、**そう遠くはない将来真岡市が「固定資産税はキチンと入る過疎地」になることも、予測としては十分に成り立つのではないだろうか。**実際、第4工業団地を見ると、現在8社が操業しているが、雇用総数は約400名であり、明らかに従来の工場と雇用形態は異なっている。

これまでの施策を進めると同時並行で、**新しい価値観を生み出す努力が必要である**と考える。ぜひ長期的視野に立って、NPOやベンチャー企業については、**積極的な育成・支援策を打ち出されるよう強く要望したい。**



再質問



ひまわり園の環境整備について

質問 **ひまわり園については、今後施設・制度両面から見直す予定があるということだが、事業計画が大きすぎて、子ども達や保護者が我慢を強いられる期間が長くなってしまいうような問題は問題である。**
いつ頃までに計画を実行に移す考えなのか。

答弁 障がい者に関する福祉行政については、**平成18年度に県から市へ事務事業が委譲される予定**となっており、**真岡市でも現在『障がい者福祉計画』を策定中**である。
ひまわり園の見直しについても、**この中に盛り込んでいききたい。**

職員互助会について

質問 職員の会費及び公費からの補助金については、**当分の間、職員給与の3/1000という率を維持していくのか。**それとも絶えず見直しを図るのか。

答弁 事業内容は今後十分に検討していくが、**率については当分の間3/1000で維持したい。**

パブリック・コメント制度について

質問 パブリック・コメント制度は、すでに県内の多くの市で実施されているものであり、決して特殊な制度ではない。真岡市が現在も検討段階でとどまっているのは大変疑問に感じる。
今後実施に向けて、どのような取り組みをするつもりなのか。

答弁 パブリック・コメント制度そのものについても、素案を作成した上で、市民から意見を募り、原案をまとめていきたい。
その後、庁内や議会での議論を経るため、**実施までには2年程度の期間を要する**と考えている。

要望 ひまわり園の環境整備について

障がいを持った子ども達を育てる大変さは、保護者にしか分からない部分が多いのではないかと思います。
施設・制度両面の見直しについては、市の担当部署と保護者の間で十分に意見を交換しながら計画を進めてほしい。



真岡市 平成17年度予算が決定

総額は422億4,121万6千円(前年比 8億7,272万8千円減)

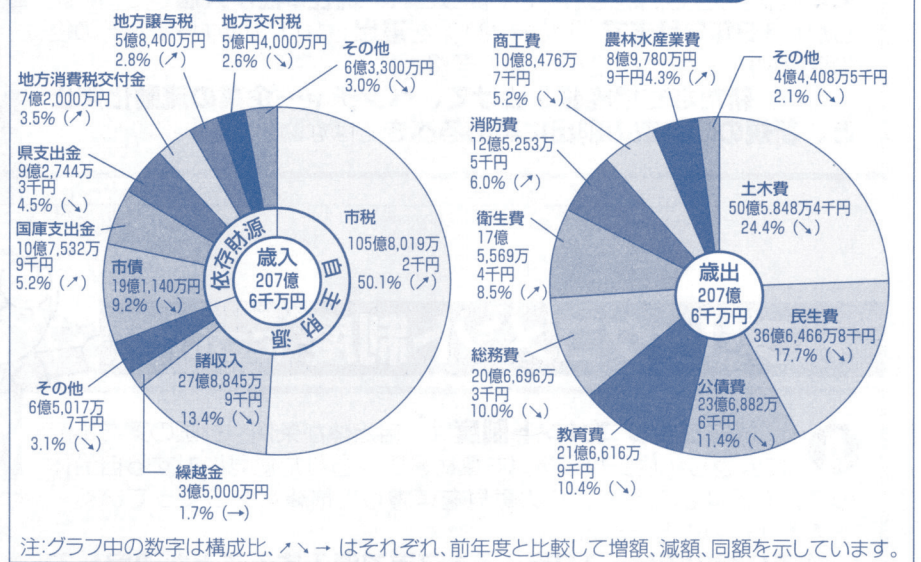
平成17年度 会計別予算額

会計名	当初予算額
一般会計	207億6,000万円
国民健康保険	54億9,092万1千円
老人保健	41億3,292万3千円
介護保険	23億4,182万3千円
工業団地造成事業	22億2,564万1千円
インターチェンジ周辺開発事業	24億810万7千円
公共下水道事業	23億1,554万5千円
農業集落排水事業	2億8,340万3千円
真岡鐵道経営対策事業基金	7,035万6千円
計	192億6,871万9千円
水道事業会計	22億1,249万7千円
合計	422億4,121万6千円

How much? 真岡市の市債償還予定額 (今後、市が返さなくてはならない借金)

一般・特別・水道事業会計+利子含む 総額 **618億2,551万6千円** (平成15年度末現在) (前年比18億4,006万2千円減)

一般会計 (207億6千万円の内訳)



新世紀・公明クラブ

会派視察研修

1月25日~27日にかけて、中村が所属する会派「新世紀・公明クラブ」では、熊本県水俣市と宮崎県宮崎市へ会派研修に赴きました。

今回は①環境との共生を目指した地域づくり ②NPOやボランティア団体の育成・支援の2つがテーマでした。



水俣市にて

世界に類を見ない公害を経験した同市は、その教訓を活かすため、平成4年に『環境モデル都市宣言』を行った。
現在『学校版ISO』や『環境モデル地域』の形成など、市民を巻き込んでユニークな取り組みが行われている。

視察の詳しい所見については、中村のホームページにて掲載しております。

平成16年度、中村は『政務調査費』を以下のような目的で使いました。

議員1人当たりの
政務調査費
330,000円

①11月:会派視察 (沖縄県那覇市など) 161,380円
※「中村かずひこ通信7号」にて報告
②1月:会派視察 (水俣・宮崎) 112,330円

残金 **56,290円**
残金は市に返却されます。

※用途の内訳は主に交通費、宿泊費です。 ※当然のことですが視察中の飲食代はすべて議員の自己負担です。



宮崎市にて

NPOやボランティア団体の育成に力を入れてきた同市。市立図書館(写真)の管理運営などをNPOに委託している。
平成18年度から『指定管理者制度』を導入する真岡市としても活動場所や研修制度の整備、資金面での支援など学ぶべき点が多い。

ぜひお越し下さい!

中村かずひこ市政報告会

日時
5月18日(水)
PM7:00~

会場
大谷公民館
(高岡酒店西側)



前回の報告会より

ぜひ
ご覧下さい!

真岡市議会議員 中村かずひこ

ホームページ

<http://www.i-berry.ne.jp/~tonpei>

なお、Yahoo! JAPANで「中村かずひこ」と検索しても、ご覧いただけます。

次回発行予定日

次回の「中村かずひこ通信」は
7月10日(日)発行予定です
新聞の折込みチラシをご覧ください。

今回は、4月24日に行われた市長選を考慮しまして発行を遅らせました。ご了承下さい。

中村かずひこ活動日誌 (1月~3月)

- 1/5 賀詞交歓会に出席
文教常任委員会
- 8 真岡市消防団出初式に出席
『熊倉福寿会』1月定例会に出席
- 9 成人式に出席
- 14 あいさつボランティア
- 15 大谷地区餅つき大会
- 17 『市民の会』定例会に出席
- 20 市役所各課へ陳情
- 21 あいさつボランティア
- 23 明治大学大学院『ガバナンス研究科』入試
- 25~27 会派研修視察(熊本県水俣市、宮崎県宮崎市)
- 28 あいさつボランティア
- 29 『つり雛作品展』を見学
『地方自治を学ぶ会』勉強会に出席(於:南河内町)
- 2/4 あいさつボランティア
真岡中学校立志式に出席
- 7 宇都宮市『わかば園』を個人視察
- 8 議員協議会

- 2/8 交通安全市民大会に出席
- 9 『ひまわり園』を個人視察
- 14 『ライプリー教室』を個人視察
- 15 国民健康保険運営協議会
- 18 あいさつボランティア
- 20 井頭公園野鳥観察会に参加
- 21 まちかど市民交流サロン準備会に出席
- 22 2月定例議会開会
一般質問の通告書を提出
※その後、市の担当部署と内容のすり合わせ
- 23 『市民の会』定例会に出席
- 24 熊倉町区長(1~4区)と意見交換
- 25 あいさつボランティア
- 26 映画『ぶりてい・ウーマン』上映会
- 28 質疑・一般質問1日目
- 3/1 質疑・一般質問2日目※この日、3人目として登壇
会派市内視察※北関東道建設現場を視察
- 3/3 文教常任委員会
- 4 あいさつボランティア

- 3/4 『つり雛&もおか木綿』を見学
- 8 矢板市議会を傍聴※一問一答方式について調査
- 9 予算特別委員会通告
※その後、市の担当部署と内容のすり合わせ
- 10 真岡西中学校卒業式に出席
- 11 あいさつボランティア
- 12 今市『市民活動支援センター』を視察
湯澤英之鹿沼市議と面会
- 14 予算審査特別委員会にて質疑
ライプリー教室作品展を見学
- 16 議員協議会
2月定例議会閉会
- 18 真岡西小学校卒業式に出席
- 20 伊夜日子会総会に出席
- 22 教育委員会を傍聴
- 23 『真岡市の鳥 写真展』を見学
- 26 真岡の自然観察会に参加
市民企画講座に参加
- 27 台若総会に出席